

NEWS RELEASE

平成 23 年 7 月 4 日

震災復興支援ユニバーサルメニュープロジェクト

共同発起人 50 音順：

NPO 団体アスコエ

株式会社ぎょうせい

日本マイクロソフト株式会社

一般社団法人ユニバーサルメニュー普及協会

協力：株式会社三菱総合研究所

報道関係者各位

震災復旧・復興支援に関する行政制度情報を利用者視点で標準化

必要な人に、必要な支援を 「復旧復興支援ナビ（β版）」公開

共同発起人 4 社からなる「震災復興支援ユニバーサルメニュープロジェクト（「震災復興支援 UM プロジェクト」という）」は、内閣官房、総務省及び経済産業省の協力を得て、インターネットサイト「復旧復興支援ナビ（β版）」（<http://www.fsnavi.jp/>）を平成 23 年 7 月 4 日に公開しましたのでお知らせします。

なお、このサイトは、国や都道府県、市区町村など行政によって提供されている震災復興支援のための各種行政制度情報を、誰もが簡単に探し、便利に使うことができるよう開発されています。

震災復興支援 UM プロジェクトは、東日本大震災の復興に少しでも力になればとの思いから、各社のボランティアベースの取組みとして、3 月 14 日からスタートしました。

私たちは、多くの企業や NPO などが取り組んでいる震災直後の緊急支援だけではなく、その次の段階である地域・生活の再建を考え、被災された方々が復興支援の様々な制度を簡単に探し、便利に使うためのサイトとして、「“制度がある” から “制度を使う”」という利用者視点での取組みを始めました。

今回の震災被害から日本を復興していくためには、自治体、政府機関などが提供する震災

復興支援に関する各種行政制度の役割が、今まで以上に重要なものとなります。また一方で、被災された方々が復興支援に関する制度を“知らない”、“探せない”、“わからない”といった状況は、地域や生活の再建を進めるための見えない壁となります。

そこで、震災復興支援 UM プロジェクトでは、震災復興支援制度の支援内容を利用者視点でわかりやすく整理した震災復興支援 UM を活用し、「復旧復興支援ナビ（β版）」を開発しました。

震災復興支援 UM では、従来の復興支援制度の情報提供サイトとは異なり、以下3点の実現を目指しています。

1)被災者が簡単に制度を探せる。【検索性の追求】

日本においては、過去の地震や津波、水害等の大災害を経て、自然災害の被災者に対する行政の各種支援制度が、すでにある程度整備されています。

しかし、それらの支援制度は、統合的な整理分類が十分になされていません。今回は、被災された方々の利用者視点に徹底的にこだわって、私たち独自の整理分類を試みました。その結果として、今までにない利用者視点での制度検索の実現を目指しました。

2)被災者が簡単に制度を理解できる。【わかりやすさの追求】

今までの制度情報サイトは、どうしても法律用語中心で表現が難解であるため、被災者の方たちが読むことをあきらめてしまう可能性があると感じました。

そこで今回は、あえて制度内容の“書きくだし”を行いました。法律用語への説明、詳細情報へのリンクを設けつつ、まず被災された方々に読んでいただける『わかりやすい文章表現』にこだわりました。

3)制度情報を共有できる。【オープン性の追求】

制度情報は、もともと国や自治体等だけのものではなく、民間も含め誰もが共有できる情報です。特に、今後も起こり得る大規模災害に備え、省庁、自治体間の枠を越え、民間企業による支援も取り込みながら、被災者支援に関する情報を被災された方々に幅広く、速やかに提供できる体制が必要です。

そこで、本プロジェクトでは、被災者支援制度に関する情報構造の共通化とオープン化を行い、広く共有化できる『共通メニュー体系』作りを目指しました。特に、今回は、昨今のクラウド化の流れを踏まえて、全て XML ベースでのコンテンツ構築を行いました。

今回の取組みは、まだ民間ベースの試みですが、今後はより詳細な情報をより多くの被災された方々に“使って”いただくことを目指し、国や自治体、そして、この取組みに賛同いただける多くの民間企業各社との協力を実現していきたいと考えています。

なお、本プロジェクトで開発した被災者支援制度に関する共通メニュー体系については、一般社団法人ユニバーサルメニュー普及協会による管理の下、クリエイティブコモンズと

して、広く一般にオープンにしていく予定です。

〔参考〕

「ユニバーサルメニュー（UM）」とは、NPO 団体アスコエによって開発された自治体 Web サイトの標準的メニュー体系で、ユーザーである市民にとってわかりやすさ・使い勝手を重視したサービスの実現を目指しています。

震災復興支援ユニバーサルメニューの設計に関しては、この UM を設計の基本コンセプトとし、また、IT 企業 11 社がメンバーとして参加して活動を行っている“OpenUM プロジェクト”によって検討された XML スキーマ（経済産業省支援事業）を利用しています。

〔本件に関するお問合せ先〕

震災復興支援ユニバーサルメニュープロジェクト事務局

担当 齋藤、河上、安井（NPO 団体アスコエ内）

TEL) 03-5148-8846

メール) info@asukoe.org

住所) 東京都中央区築地 4-1-12 ビュロー銀座ビル 802

補足資料

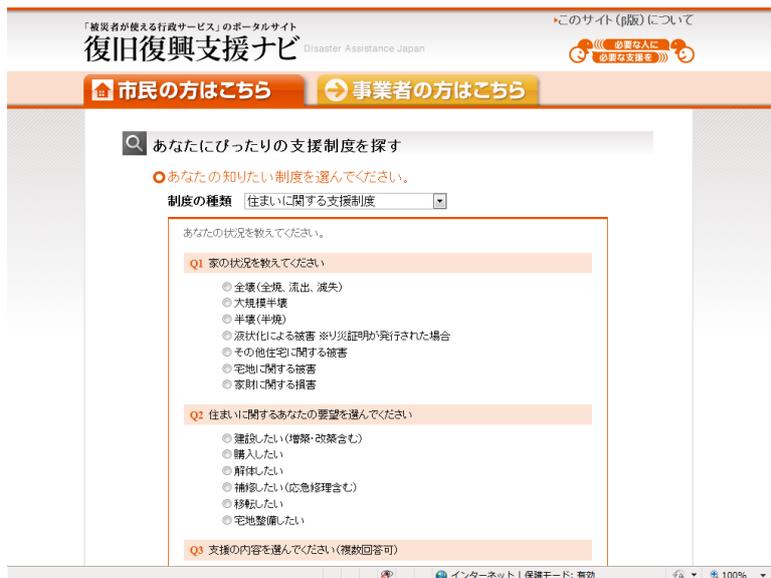
イメージ1 【復旧復興支援ナビ トップページ】

「質問形式」、「一覧形式」、「フリーワード形式」等により支援制度の検索が可能です。また、支援内容別のアクセスランキングなどもご覧いただけます。



イメージ2 【復旧復興支援ナビ 「市民向け」支援制度検索ページ】

各制度の対象となる状況や利用者の要望、そして支援制度の種別をフラグ付けしたため、被災された方々が、自分が利用できる制度の情報を簡単に探せるようになりました。



イメージ3【復旧復興支援ナビ 「市民向け」支援制度一覧ページ】

検索結果の一覧が可能で、制度の対象者や利用条件が分かり易いよう、制度説明の下にアイコン形式で表示しました。また、アクセス数を星で表示し、その制度がどのくらいアクセスされているかも知ることができます。



イメージ4【復旧復興支援ナビ 「市民向け」支援制度詳細ページ】

『わかりやすさ』を追求するために、制度内容文章の「書きくだし」を徹底しました。同時に、正確さを担保するため、根拠法令へのリンクや、法律用語等へ吹き出し形式で補足説明を表示する機能も実現しました。また、被災自治体へのリンクも用意しました。

